

# 当区域の自然的条件に関する調査（海底地盤調査）

- 促進区域指定ガイドラインを目安として、海底地盤状況を確認するため、以下の調査を実施した。

区 分	調査項目	取得データ	測定頻度等	備 考
海底地形	深淺測量	海底形状(水深)、海底人工物の有無	測線間隔 約1.5km	1素子
海底地層	音波探査	海底面下の地層構造	測線間隔 約1.5km	
海底地質	コーン貫入試験	海底面下の土質性状	2本（調査延長 約12m、約3m）	
海底地質	PS検層	底質(S波速度)	1本（調査延長 約24m）	

- 調査によって確認された海底地盤の状況は以下のとおり。
  - ① 区域内の水深は、20m未満が約10%、30m未満が約60%、40m未満が約95%であり、区域内の最も深い箇所の水深は、約5.2mであった。
  - ② 区域内には岩盤が露出しているエリアがあり、また、海底地形は起伏に富むことが確認された。
  - ③ コーン貫入試験調査地点における堆積土の性状は、海底面から3～10m程度は砂質土層で、その下は岩盤（基盤層）となっていた。

(まとめ)

- 調査の結果、有望な区域の海底地盤において、洋上風力発電を実施する上で特に不相当と確認される点はなかった。

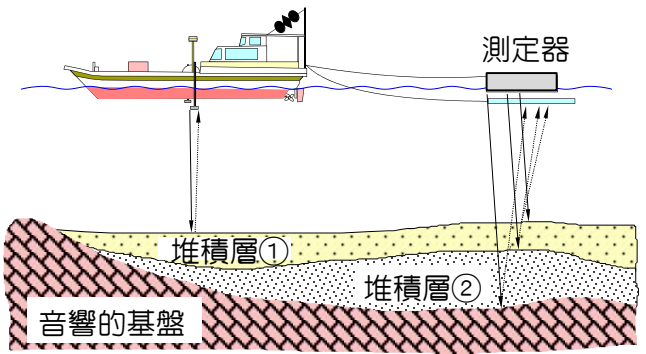


図1 音波探査概念図



写真1 調査船

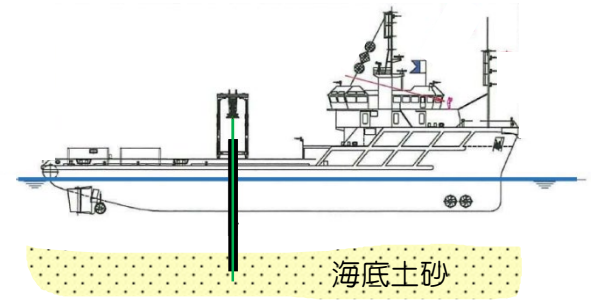
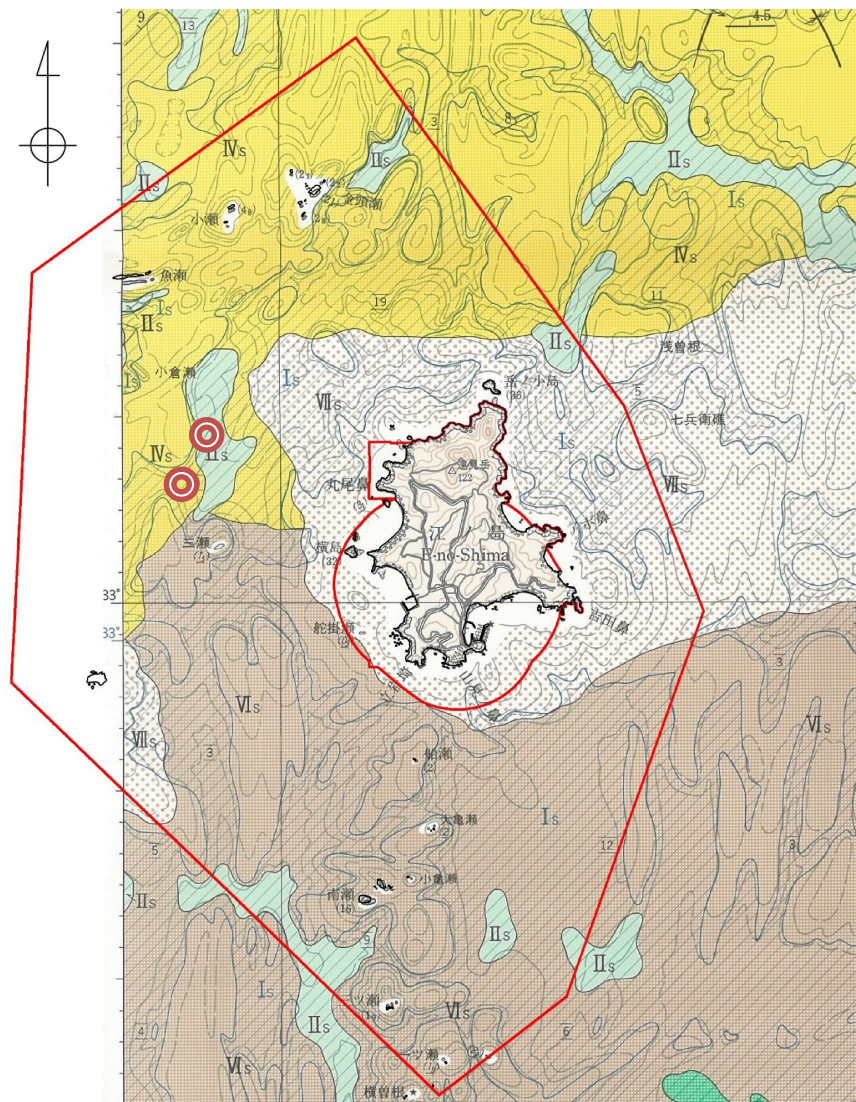


図2 コーン貫入試験概念図

# 【参考】当区域の自然的条件に関する調査（海底地盤調査）

- 調査区域の海底地形は、起伏に富むこと、等深浅が複雑であることが確認された。



層序区分  
Stratigraphic Division

時代 Geological Age	陸上地質層序* Land Stratigraphy			海底調査層序 Accestral Stratigraphy in the sea area		
	堆積岩類 Sedimentary Rocks	火成岩類 Igneous Rocks	変成岩類 Metamorphic Rocks	堆積岩類 Sedimentary Rocks	火成岩類 Igneous Rocks	変成岩類 Metamorphic Rocks
第四紀 Quaternary	更新世 Holocene	尾瀨 Tsunobiki 沖積層 Alluvium 海浜堆積物 Beach Deposits		Is		
	更新世 Pleistocene	段立堆積物 Terrace Deposits		IIs IIIs		
新第三紀 Neogene	鮮新世 Pliocene		長崎火山岩類 Nagasaki Volcanic Rocks 北松浦玄武岩類 Kita-Matsushima Basalts		IIIs	
	中新世 Miocene	野島層群 Nojima Group 松島群 Matsushima Group 相澤層群 Aisawa Group		IVs		
古第三紀 Paleogene	漸新世 Oligocene	西波科群 Nishinokami Group		Vs		
	始新世 Eocene	松島層群 Matsushima Group 寺島層群 Terashima Group 赤崎層群 Akasaki Group		VIIs		
	白堊紀 Cretaceous	江戸島層 Edo-shima Group	花崗岩類 Granites			VIIs



図3 調査区域周辺の海底地質図（出典：沿岸の海の基本図 崎戸(海底地質構造図)）